



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 三精輸送機株式会社

コード番号 6357 URL <http://www.sanseiyusoki.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中川 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 昇 賢治

TEL 06-6385-5621

四半期報告書提出予定日 平成23年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	8,484	7.3	485	△39.2	616	△42.9	241	△43.2
22年3月期第3四半期	7,911	7.4	799	41.7	1,079	52.2	424	170.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	14.87	—
22年3月期第3四半期	23.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	26,071	22,907	80.6	1,295.30
22年3月期	27,223	23,027	77.8	1,304.96

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 21,021百万円 22年3月期 21,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
23年3月期	—	7.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	0.1	1,100	△41.2	1,250	△42.7	530	△25.9	32.66

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 19,332,057株 22年3月期 19,332,057株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 3,103,213株 22年3月期 3,101,350株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 16,229,842株 22年3月期3Q 18,232,159株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や設備投資に持ち直しの動きがみられましたものの、円高の進行やデフレ懸念等、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような環境下、当社グループは当期を初年度とする新中期経営計画を策定し、当面の業績向上と経営基盤の強化に全力で取り組むと共に、昇降機・舞台機構・遊戯機械の3事業をコアに「技術」と「品質」と「顧客対応力」の向上に一段と注力しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は8,484百万円（前年同期比7.3%増）となりましたものの前年同期に比べ利益率が低下し営業利益は485百万円（同39.2%減）、経常利益は616百万円（同42.9%減）、四半期純利益は241百万円（同43.2%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません）

製品製造関連

製品製造関連におきましては、舞台機構部門や特に遊戯機械部門が順調に推移し売上高は3,731百万円、セグメント利益は579百万円となりました。

修理保守関連

修理保守関連におきましては、堅調に推移したものの前期に比し大型の改修案件が少なく、売上高は4,571百万円、セグメント利益は395百万円となりました。

その他

その他につきましては売上高は181百万円、セグメント利益は70百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、流動資産は前連結会計年度末に比べ1,610百万円減少し13,729百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,455百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ458百万円増加し12,342百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,151百万円減少し26,071百万円となりました。

負債の部では、流動負債は前連結会計年度末に比べ938百万円減少し1,907百万円となりました。これは主に、未払法人税等が773百万円、前受金が204百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し1,257百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,031百万円減少し、3,164百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ120百万円減少し、22,907百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少し5,554百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ1,422百万円増加し448百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が570百万円、売掛債権の減少による収入763百万円があったものの、たな卸資産の増加407百万円及び法人税等の支払1,285百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ1,944百万円増加し345百万円となりました。これは主に定期預金の払戻しによる収入683百万円があったものの、投資有価証券の取得による支出855百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ1,482百万円減少し268百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現在のところ精査中であり、平成22年11月11日に公表いたしました連結業績予想の修正はしておりません。

今後、何らかの変化がありました場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報**(1) 重要な子会社の異動の概要**

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要**① 棚卸資産の評価方法**

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算定に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

④ 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰延べております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要**1. 資産除去債務に関する会計基準等の適用**

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,673,500	7,128,600
受取手形及び売掛金	4,103,397	4,867,253
有価証券	2,310,772	2,413,833
仕掛品	616,915	200,035
原材料及び貯蔵品	286,710	308,682
その他	738,278	421,552
貸倒引当金	△67	△61
流動資産合計	13,729,507	15,339,896
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,182,456	4,172,090
減価償却累計額	△1,189,031	△1,088,371
建物及び構築物（純額）	2,993,425	3,083,719
機械装置及び運搬具	869,665	734,347
減価償却累計額	△608,109	△413,640
機械装置及び運搬具（純額）	261,556	320,707
土地	2,615,073	2,615,073
建設仮勘定	10,445	1,710
その他	565,999	479,917
減価償却累計額	△420,306	△346,897
その他（純額）	145,693	133,020
有形固定資産合計	6,026,192	6,154,230
無形固定資産	80,615	81,231
投資その他の資産		
投資有価証券	5,055,105	4,493,890
長期貸付金	288,479	165,886
繰延税金資産	92,051	93,362
その他	814,726	900,679
貸倒引当金	△15,011	△5,965
投資その他の資産合計	6,235,351	5,647,852
固定資産合計	12,342,159	11,883,314
資産合計	26,071,666	27,223,211

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	928,085	1,010,568
未払法人税等	—	773,211
未払消費税等	—	64,066
前受金	134,807	339,200
賞与引当金	147,448	279,245
役員賞与引当金	—	24,000
工事損失引当金	233,086	147,147
その他	463,795	208,262
流動負債合計	1,907,224	2,845,703
固定負債		
退職給付引当金	706,729	692,650
長期未払金	379,801	379,801
その他	170,753	277,655
固定負債合計	1,257,284	1,350,107
負債合計	3,164,509	4,195,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,989,057	2,989,057
利益剰余金	16,009,048	15,994,988
自己株式	△1,509,716	△1,508,954
株主資本合計	20,739,669	20,726,370
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	281,577	454,854
繰延ヘッジ損益	—	△756
評価・換算差額等合計	281,577	454,098
少数株主持分	1,885,909	1,846,931
純資産合計	22,907,156	23,027,400
負債純資産合計	26,071,666	27,223,211

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,911,035	8,484,707
売上原価	5,401,636	6,207,117
売上総利益	2,509,398	2,277,590
販売費及び一般管理費	1,710,271	1,791,739
営業利益	799,126	485,851
営業外収益		
受取利息	35,731	28,190
受取配当金	61,662	57,115
保険配当金	161,151	40,096
その他	23,288	23,946
営業外収益合計	281,833	149,349
営業外費用		
支払利息	195	127
支払手数料	399	18,224
その他	566	179
営業外費用合計	1,161	18,531
経常利益	1,079,799	616,668
特別利益		
投資有価証券清算益	20,574	—
貸倒引当金戻入額	266	—
特別利益合計	20,840	—
特別損失		
投資有価証券評価損	148,119	3,535
固定資産除却損	3,320	151
たな卸資産廃棄損	—	12,296
会員権評価損	—	26,999
投資有価証券償還損	—	3,260
特別損失合計	151,439	46,243
税金等調整前四半期純利益	949,200	570,425
法人税等	412,129	250,635
少数株主損益調整前四半期純利益	—	319,789
少数株主利益	112,224	78,506
四半期純利益	424,846	241,283

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	949,200	570,425
減価償却費	214,163	200,305
ソフトウェア償却費	21,181	20,239
長期前払費用償却額	4,698	3,559
賞与引当金の増減額(△は減少)	△142,293	△131,796
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△24,000	△24,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△14,631	85,939
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△26,528	14,079
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△266	9,046
受取利息及び受取配当金	△97,393	△85,306
支払利息	195	127
たな卸資産廃棄損	—	12,296
固定資産除却損	3,320	151
投資有価証券評価損益(△は益)	148,119	3,535
投資有価証券償還損益(△は益)	—	3,260
会員権評価損	—	26,999
売上債権の増減額(△は増加)	660,075	763,856
たな卸資産の増減額(△は増加)	△267,076	△407,204
仕入債務の増減額(△は減少)	△82,664	△113,137
前受金の増減額(△は減少)	△472,920	△204,392
その他の資産の増減額(△は増加)	496,013	19,001
その他の負債の増減額(△は減少)	78,942	81,176
未払消費税等の増減額(△は減少)	△159,324	△96,280
その他	△20,574	—
小計	1,268,235	751,880
利息及び配当金の受取額	98,071	85,306
利息の支払額	△195	△127
法人税等の支払額	△392,336	△1,285,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	973,776	△448,699

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△743,413	△83,226
定期預金の払戻による収入	1,743,406	683,199
有価証券の取得による支出	△901,450	△1,405,345
有価証券の売却による収入	2,099,754	1,499,612
投資有価証券の取得による支出	△410,300	△855,469
投資有価証券の売却による収入	1,120	—
有形固定資産の取得による支出	△63,331	△53,748
無形固定資産の取得による支出	△32,532	△9,220
貸付けによる支出	△124,000	△128,700
貸付金の回収による収入	9,042	7,517
その他	20,574	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,598,869	△345,381
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,105	△1,105
自己株式の取得による支出	△1,441,567	△761
自己株式の売却による収入	275	—
配当金の支払額	△269,049	△226,678
少数株主への配当金の支払額	△40,000	△40,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,751,447	△268,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	821,198	△1,062,625
現金及び現金同等物の期首残高	5,729,720	6,617,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,550,919	5,554,653

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、昇降機・舞台機構・遊戯機械を製造納入する部門と、納入した製品の修理改修・保守を行う部門とに区分されます。

よって、昇降機・舞台機構・遊戯機械部門を「製品製造関連」とし、製品の修理改修・保守部門を「修理保守関連」とする2つの報告セグメントから構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	製品製造関連	修理保守関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,731,516	4,571,577	8,303,093	181,613	8,484,707
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,244	-	5,244	585	5,829
計	3,736,760	4,571,577	8,308,338	182,198	8,490,537
セグメント利益	579,622	395,034	974,657	70,574	1,045,231

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	974,657
「その他」の区分の利益	70,574
全社費用(注)	△559,380
四半期連結損益計算書の営業利益	485,851

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

該当事項はありません。